

公共施設マネジメント戦略会議・平成30年度第1回会議 報告

- 日 時：平成30年4月24日（火）10：30～11：15
- 場 所：災害対策本部室
- 資 料：別添のとおり
- 出席者：上地市長（委員長）、永妻副市長（副委員長）、田中副市長（副委員長）
各部局長など委員 計30名
- 内 容：＜議題＞
 - ・ FM戦略プランについて
 - ・ 公共施設の安全確保について

概 要

1 開 会

2 議 題

○議題（1）「FM戦略プランについて」

○議題（2）「公共施設の安全確保について」

事務局が内容を説明。説明の概要は以下のとおり。

＜FM戦略プランについて＞

- ・ 今回策定するFM戦略プランは、平成29年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」を行動計画とし、そのうちの「建物」に関する個別計画という位置付けである。これまでは、「施設配置適正化計画」がこれに該当していた。
- ・ 施設配置適正化計画とFM戦略プランの違いは、計画の考え方として、前者が施設面積の縮減を主眼としたものであるのに対し、後者は将来像を見極め、それをどのように実現していくかを主眼として策定するものである。
- ・ 策定に関しては、昨年度から庁内検討部会を開始しており、また、3月の定例議会からは特別委員会が設置され審議を行っている。次回5月18日に予定されている特別委員会では、委員会から求められた資料を提出するとともに、骨子素案を充実させて、報告する予定である。
- ・ 7月からは、外部有識者や市民による検討委員会をスタートする予定であり、それに向けて、骨子素案を骨子案としてまとめ、検討委員会に諮問していきたいと考えている。
- ・ 今後のスケジュールとしては、検討委員会を平成31年2月までに計4回開催し、答申をいただくことを考えており、その間、当戦略会議も随時開催していきたいと考えている。

< FM戦略プラン骨子案の検討手順フロー図について >

- ・ 検討手順①として現状の分析だが、施設の実際の使われ方により分類するとともに、その施設がどの範囲からの利用者を想定しているのかという視点で、分類した。その後、基本方針を定め、検討手順③集約統合のあり方として、施設を再編する場合の手法を整理した。
- ・ 今後、⑤にて維持管理費の縮減に関する検討や、⑥のリーディングプランとして、FMを推進するために必要な取り組み等を計画に位置付けることを検討する予定である。
- ・ また、⑦については、④に記載した将来像を具体的に検討するための手順等も検討し、計画に記載する予定である。
- ・ なお、⑧について、プラン作成時点では具体的な部分までは定められないため、プラン策定後、一定のグループを定め検討することを現時点では考えている。

< FM戦略プラン【骨子素案・平成30年4月24日版】について >

- ・ 現時点では第5章の施設の将来像の部分までを検討している段階である。その中で、今回は第5章の3「施設が持つ機能から見た将来像」について追記している。
- ・ 1ページの第1章、計画の目的や本市の現状と課題等については、5月の特別委員会までに、内容を固めていく予定である。
- ・ 現段階では、2ページ中段に記載している機能の重複がある14施設を中心に整理している段階であり、他の施設についても7月からの外部有識者等による検討委員会までには、追記していく。
- ・ 先に申したとおり25ページ「3施設が持つ機能から見た将来像」の部分を今回追記したのでご意見をいただきたい。
- ・ (1) 機能別の①全市利用施設のア貸室機能の将来像としては、多様な使い方への対応、誰もが利用できること、全市からアクセスしやすいこと、集約等により効率的な運営を図ることと整理した。この機能を有する施設として総合福祉会館等、5施設を記載している。
- ・ イのホール機能の将来像としては、大きなイベントから市民の発表会など様々な利用に対応すること、民間との連携及び利便性の高い立地、複合化等により効率的な運営を図ることと整理した。
- ・ 27ページ②大エリア施設のア、図書閲覧等の機能の将来像としては、機能を維持すること、施設更新時には、複合化や民間との連携を図るとして整理した。
- ・ イのスポーツ等の機能、体育会館の機能の将来像としては、民間との機能分担に留意しつつ、現在の機能を維持するとして整理した。
- ・ 28ページ③中エリア施設のア、貸室機能の将来像としては、多様な使い方への対応、世代を超えて誰もが利用できること、複合化等により効率的な運営を図ること、複合化に際しては、学校など地域の拠点に適した施設を活用することと整理した。
- ・ 29ページイのスポーツ等の機能、体育会館の機能の将来像としては、多様な使い方への対応、世代を超えて誰もが利用できること、複合化等により効率的な運営を図ること、複合化に際しては、学校など地域の拠点に適した施設を活用することとして整理した。
- ・ 31ページで、(1) 機能別で示した将来像を、地区別に表記することを考えている。

<公共施設の安全確保について>

- ・ 公共施設の経年劣化、老朽化による事故を未然に防止する取組として、統一的な点検方法を定め、施設の点検体制の確立を目指していく。
- ・ そのために、各施設における日常点検と、専門事業者による法定点検の2つのアプローチについて、今後FM推進課と各施設との連携を推進し、点検の充実を図る。
- ・ まず、日常点検については、今年度、FM推進課にて「(仮称)施設日常点検マニュアル」を作成する。マニュアルは原則、「目視」と「聴診」を基本とし、実行しやすい内容とする。
- ・ 法定点検については、平成30年度から今まで公共建築課で受託していた建築基準法第12条点検をFM推進課でまとめて発注し、その点検結果の情報を、集約・集積する。
- ・ また、施設の重大な不具合・事故等が起きた場合は、5ページフロー図Ⅲのとおり実施していただきたい。

<質疑等>

- ・ そもそも「FM戦略プラン」はまちづくりの視点で今後のあり方を考えるものだと思うが、まちづくりの視点や概念、考え方がこの資料の中でどこに示されているのかよく分からない。
- ⇒ 施設を個々に見るのではなく、いくつかのグループでまずは見ることで、それが利用者の圏域という視点から整理したが、利用者圏域を考慮することで、まちづくりという考え方を我々としては取り入れたと考えている。
- 今後の検討の中で、グループ単位を考えると、全市利用施設は中心市街地に近いところに立地しているものが多いと現状でも把握しており、そこを市街地の計画と今後整合させて考えていきたい。
- あるいは、地域の施設であれば立地適正化計画の居住誘導区域を意識しながら整理をしていくとか、そのあたりが必要だと思っているが、今の資料では具体的に記載できていないので、今後整理していきたい。
- ・ 貸室でも人気のある部屋やない部屋が現状存在していることから、今回の整理の中で実状に合わせた使い方での使用ができる体制に整えられたら良いと思うが。
- ⇒ 今後の貸室の使い方の工夫については、考えているところであり、今の使い方にとらわれない使用方法の視点も踏まえて考えていきたいと思っている。
- ・ 検討手順フロー図⑧について、個別の実行計画を策定するにあたり、スケジュール感の目安を教えてください。また、現時点で想定している実行計画の策定方法について、施設配置適正化計画の時のように、検討部会を設けて個別のグループ毎に行うのか。
- ⇒ グルーピングの方法については、エリア別や施設別で方法が変わってくると思う。その点については、計画の中でどのようなグルーピングが良いか盛り込みたいと考えている。
- ⇒ スケジュールについては、こういった取組が効果的で、先に取り組まなければいけないものなのかをまずは考え、何をやらなければならないのかを考えた上で、それに対する実行計画のグルーピングを行いたいと考えている。

- ・ 骨子素案のP. 2で、現在検討を開始している施設が載っているが、それ以外の市営住宅や市民病院等の建替計画とFM戦略プランとの関係性は。
- ⇒ FM戦略プランの対象は市が保有する建物であることから、市営住宅等についても将来像については、当プランに掲載していくことを考えている。

- ・ 機能の将来像を整理するにあたり、必ずどこかで廃止についての議論が出てくることになるが、それはどこの段階で誰がやるのか。もし、機能の将来像やあり方までは当該プランに示されるのみで、廃止については各部で実施するとなると前回の計画と同じ議論になってしまう。そのため、廃止の考え方を市全体としてどのように進めるべきかを当プランの中できちんと記していただき、各部は反対の方々と向き合わないと、廃止できなかったということにつながりかねない。どういうスケジュールでどう書いていくのかを教えてください。
- ⇒ その点については、第7章のリーディングプランに位置付けを行い、ここで廃止と位置付ければ、スケジュールを策定し進めていく各部と協力して実施していく。また、将来に向けて検討するということを位置付ければ、そのような検討も各部と一緒にやっていく形になると思う。

- ・ FM戦略プランの中で、今後施設を廃止するというのはどういう考えなのかという基本方針が無いと、リーディングプランで何年か経った時に、見直すとなった場合、結局は個別の廃止論にしか過ぎなくなってしまう、説明がつかないのではないかと考えている。そのため、どのような場合には廃止を検討すべきだという指針を盛り込んでいただけると、各部局は次の検討の際の一つの流れになると思うが。
- ⇒ 記載方法については、検討していきたい。

- ・ 施設の規模、利用者数について、施設の統合とか合理化とか考える場合に、施設だけでなく人の集約も必要と考えるがいかがか。
- ⇒ どのくらいの規模を用意する必要があるかを把握しておくことは重要であり、現在データを集計しているところであるから、出来次第お示ししたいと思う。

- ・ これまでも、各分野別計画の検討の中でも将来の機能のこととか、方向性についてある程度議論は進んでいると思うが、その点と整合を図りつつ、特に廃止についてはこれから議論になっていくところなので、そこを当プランの中で位置付け方を含め記載しておく、個別の実行計画の中でもベースとなり、方向性も見えるので、記載をお願いしたい。

4 閉 会

これで本日の会議を終了する。

以 上